

(4) 平成12年11月1日から2日の大雨災害

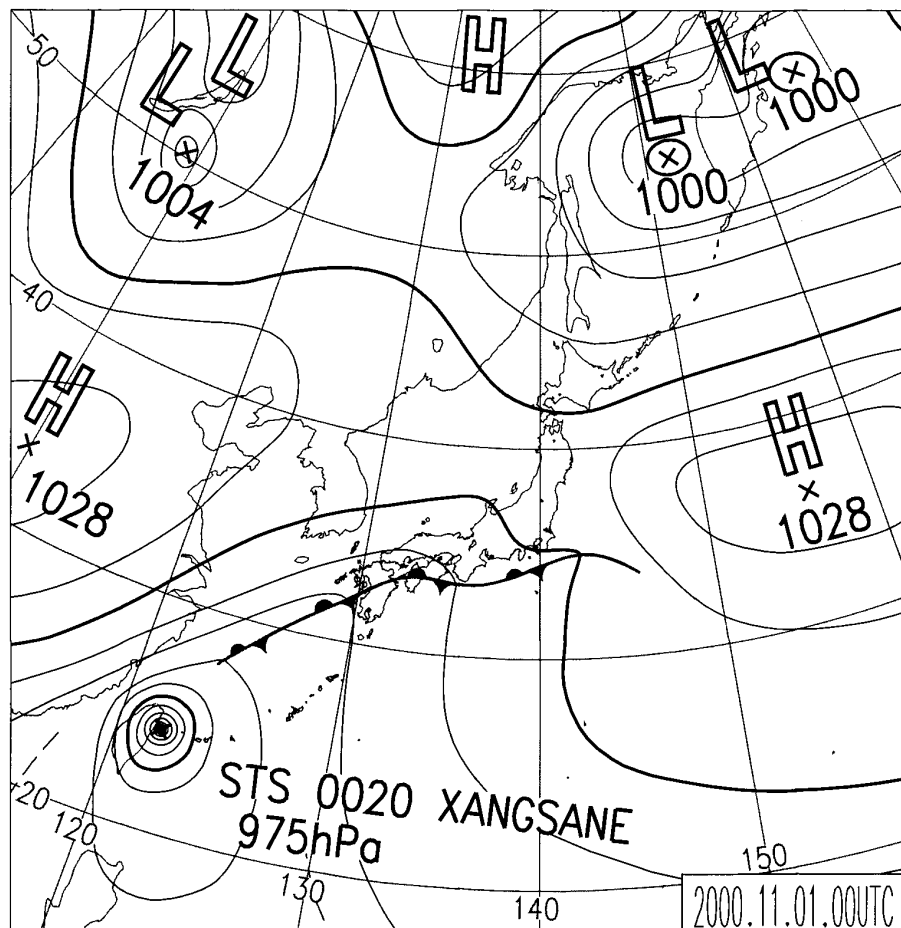
気象概況

1日は九州北部付近に停滞前線があり、台湾付近には台風第20号が北東に進んでいた。台風の東側を回る暖かく湿った空気が前線に向かって流れこんだため、前線が活発化した。2日は台風第20号が東シナ海で北東進しながら温帯低気圧に変わり、午前中九州北部を通過した。このため1日から2日午前中にかけて大雨となり、2日間の総降水量は県内ほとんどの地域で100mmを越えた。

1日から2日の総降水量は、添田182mm、甘木180mm、行橋153mm、柳川145mmなどであった。

日降水量の多い地点は、添田が91mm(1日、2日共)、甘木90mm(1日、2日共)、英彦山90mm(1日)、黒木88mm(1日)、大牟田83mm(1日)、行橋82mm(1日)などであった。

1時間降水量の多い地点は、黒木25mm(1日09時)、甘木24mm(2日07時)、甘木22mm(1日09時)、福岡21mm(2日03時)、柳川21mm(2日06時)、柳川20mm(1日08時)などであった。



地上天気図 平成12年11月1日09時

(福岡管区气象台)

